

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 チャイルドハートやまぐち

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------------------------------------|--|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | |
| | 2 職員の配置数は適切である | ○ | | | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | ○ | | 当事業所は入り口に段差があり、階段もあるので、バリアフリー化には時間がかかるが、それぞれの利用児に合わせた合理的配慮を行っていききたい。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 日次、週次、月次にてミーティングを行い、業務及び支援目標の改善を行い改善に努めている。 | |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | | ○ | | 開所間もないため未実施。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | ホームページに公開予定。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 現在は、保護者の方と社内の評価のみ。今後必要に応じて外部評価の実施を検討したい。 |
| 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | 今後は、社内だけでなく外部の研修にも積極的に参加し、支援の質を高めるよう努めていきたい。 | |
| 適切な支援の提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | チャイルドハート指定のアセスメントシートを使用し、アセスメントを行っている。 | |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | 多様なプログラムを用意し、固定化されないよう実施していきたい。 |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | | |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | 保護者様とも話し合い、納得していただいた内容で計画を作成している。 |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 支援後には必ずミーティングを行い情報を共有している。 | |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | |
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 今後、半年ごとにモニタリング、アセスメントを実施し、個別支援計画書の見直しを行っていく。 |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | ○ | | | | |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 チャイルドハートやまぐち

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|--|----|-----|-----------------|-----------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | |
| | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | | |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | ○ | | 該当児なし。 |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | 必要に応じて行っていく予定。 |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | ○ | | 現在、該当児なし。 |
| | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | ○ | | 今後行っていきたい。 |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 今後、機会があれば実施していきたい。 |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | | ○ | | 今後、積極的に参加していきたい。 |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 連絡帳等取り入れ共有している。 | |
| 保護者への説明責任等 | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | | 積極的に対応していきたい。 |
| | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | 契約時には、十分な時間をとり、丁寧な説明を行うことを心掛けている。 |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | 今後、面談やヒヤリングを行っていく。 |
| | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 積極的に行っていきたい。 |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | 活動内容等の報告を行う会報を配布する予定にしている。 |
| | 35 個人情報に十分注意している | ○ | | | 個人情報の取り扱いについての社内研修及び指導を行う。 |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 チャイルドハートやまぐち

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----|----------------------------|--|
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 特性に応じた配慮をしていく。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 地域の方にもオープンな事業所であるよう心掛けたい。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | 定期的に行っていく。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 研修の機会を設け、自身の行動を振り返り、適切な対応ができるように心掛けたい。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | 保護者様には契約時十分な時間をとり。説明をしている。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | 対応が必要な場合は行っていく予定。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 記録に残すだけでなく、ミーティングを行っている。 | |

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 チャイルドハートやまぐち

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|-----|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 十分なスペースを確保し運用している | |
| | 2 職員の配置数は適切である | ○ | | 指定基準を満たしている | 今後も、福祉の分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置を考えていきたいと思う。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | | ○ | 利用児にとって分かりやすいよう構造化した活動、環境を心がけている。 | 当事業所は入り口に段差があり、階段もあるので、バリアフリー化には時間がかかるが、それぞれの利用児に合わせた合理的配慮を行っていきたい。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 日頃から、衛生管理を徹底し、清潔で心地よく過ごせる環境を整えている。 | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 定期的に業務改善のためミーティングを実施している。 | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | | ○ | | 開所間もないため未実施。日頃の対話などから利用者様のご要望を伺い、業務改善につなげていきたい。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | ホームページ等で公開していく予定。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 現在は、保護者の方と社内での評価のみ。今後必要に応じて外部評価の実施を検討したい。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | チャイルドハート本部が行う様々な研修に参加している。 | 今後は、社内だけでなく外部の研修にも積極的に参加し、支援の質を高めるよう努めていきたい。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 保護者との面談後、児童発達支援管理責任者を中心に全職員でアセスメントを行い、支援計画書を作成している。 | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | チャイルドハート指定のアセスメントシートを使用し、アセスメントを行っている。 | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | 児童発達支援ガイドラインに基づいて支援内容を設定している。 | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | 定期的に職員間で支援計画に沿った支援を行えているのか確認している。 | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 全職員で適切な療育が行われているか検討しながら活動プログラムを作成。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | 多様なプログラムを用意し、活動プログラムが固定化しないよう実施していく。 |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | 子どもの状況に応じて組み合わせた支援計画書を作成している。 | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 必ず朝礼を行い、その日の活動についての役割等の確認を行っている。 | |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 支援終了後には必ずミーティングを行いその日の出来事を共有している。 | |
| 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | 保護者への連絡帳、ケース記録等その日の支援内容を記録として残し、職員間で共有していく。 | |

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 チャイルドハートやまぐち

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|--------------|---|----|-----|---------|---|--|
| | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | モニタリングを定期的に行い、職員ミーティングで支援内容の見直しの必要性を常時検討していきたい。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | | |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | | | |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | | | 該当なし。 |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | ○ | | | 該当なし。 |
| | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | | 必要に応じて個人情報等適切に管理した上で、情報共有を行ってきたい。 |
| | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | | 必要に応じて適宜に行ってきたい。 |
| | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | | 必要に応じて適宜に行ってきたい。 |
| | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | | 今後、参加させていただきたい。 |
| | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | ○ | | | 積極的に参加するよう心掛けたい。 |
| | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | | 利用児の課題状況など日頃から保護者様とコミュニケーションを図る中で情報を共有するよう心掛けたい。 |
| | 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | | | 積極的に対応していきたい。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | 契約時には、十分な時間をとり、丁寧な説明を行うことを心掛けている。 | |
| | 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | | 面談時に支援計画について丁寧な説明を心掛け、保護者様にご理解いただいた上で同意を得ている。 |
| | 34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | | 相談があった際は、必要に応じて個別に対応する。 |
| | 35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | | 今後積極的に開催し、保護者様同士の連携が取れるよう支援していきたい。 |
| | 36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | | |

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 チャイルドハートやまぐち

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|----|-----|--------------------------|------------------------------|
| | 37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | 活動内容等の報告を行う会報を配布する予定にしている。 |
| | 38 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | | 個人情報の取り扱いについての社内研修及び指導を行う。 |
| | 39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 特性に応じた配慮をしていく。 |
| | 40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 地域の方にもオープンな事業所であるよう心掛けたい。 |
| 非常時等の対応 | 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | | |
| | 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | |
| | 43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | | 利用児の状況に合わせた対応方法について確認していく。 |
| | 44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | |
| | 45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | |
| | 46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 社内研修、社外研修ともに参加し、情報を共有を行っていく。 |
| | 47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 契約時、十分な時間をとり説明をし同意を得ている。 | |